

分類：臨床医学 VII (CC2)

授業科目名：地域医療実習 (Community medicine training)

対象学年：6年次必修

時間割コード：71644006-28

1. 主任教員

学務委員長 ()

2. 担当教員

学務委員長 ()

3. 授業のねらい及び概要 (学修目標)

ねらい

これからの社会では、どのような分野や医療機関の医師にとっても、医療連携を必要とするすべての患者さんや家族が、心身ともに安心して医療を継続的に受けられるように、診療を行う各地区における地域包括ケア・医療連携を考慮した全人的医療が必須となる。

本プログラムは、学内における1年間の診療参加型臨床実習(CC1)が終了した後に、1~2名単位で4~5週間にわたり、県内2次医療圏の各地域医療機関における診療参加型臨床実習を行う。これによりCC1の経験を生かして、基本的な診療能力を向上するとともに、地域包括ケアシステムと多職種連携の重要性、地域医療の魅力とやりがいを理解し、将来、医師として様々な形で地域医療連携に関わっていくための総合的な診療実践力を修得する。さらには、これらの実習経験を通じて、医師のプロフェッショナリズム、医の倫理、医療行動科学、医療安全、EBM、医療制度についての実践力を向上する。

学修目標 (1-1~1-2、2-1~2-8、3-1~3-7、4-1~4-8、5-1~5-5、6-1~6-2)

1. 地域医療・プライマリケアにおける主要症候・病態に対して十分な医療面接、身体診察による臨床推論、初期対応ができる。
2. 系統だった臨床検査、画像検査が適切に提案できる。
3. 正確で系統だった症例提示とカルテ記載ができる。
4. 一般的な急性・慢性疾患や病態に対して治療方針の提案など適切に対応できる。
5. EBMの意義を正確に理解して問題解決のために実践できる。
6. 患者・家族とラポールを形成するような人間関係が構築できる。
7. 在宅医療・地域包括ケアにおける広義のチーム医療・多職種連携の重要性を理解し実践できる。
8. 死生観やACP(Advance Care Planning)について理解し、地域包括ケアの際に検討できる。
9. 予防医学に関する知識があり実践できる。
10. 介護保険等の一般的な書類を記載し、指導医に提案できる。
11. 地域医療の魅力とやりがいを理解し実践できる。
12. ICTを活用した的確な情報収集ができる
13. 地域医療実習経験を通じて、医師のプロフェッショナリズム、医の倫理、医療行動科学、医療安全、医療制度、EBMに関する実践力、様々な患者背景を考慮した総合的な診療能力を幅広く向上する。

本科目は実務経験のある教員による授業科目です。

4. 教科書・参考書

実習手引き 後日配付

各病院における推薦図書など

5. 成績評価の方法

各受入病院の臨床教授等による評価, 提出実習レポート評価, 実習出席状況及び実習態度を評価する。CC-EPOC の入力状況も評価対象となる。

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

本科目は「秋田大学 COC キャリア認証プログラム」に定める「地域志向科目」である

地域医療実習

授業展開	授業内容
------	------